

令和8年度版「学力向上ポータルフォリオ(学校版)」【大谷口小学校】

学力向上 アクションマップ

①	今年度の目標と学力向上策
重点的に育成する 資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> ・「ドリルパーク」や問題集などのAIドリル類を活用し、国語・社会・算数・理科を中心に、個々のレベルに応じた練習問題へ取り組みすることで、知識・技能の向上をめざす。また、朝の時間を活用して漢字練習や四則計算に取り組む時間を設け、反復練習を行うことで基礎学力の向上をめざす。 ・授業の中で自分の考えや意見をじっくりと考える時間を確保するとともに、発表の際には根拠を明確にし、相手に分かりやすく伝える活動を取り入れることで、思考力・判断力・表現力の向上をめざす。
↓	
実施する学力向上策 【時期・頻度】	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した繰り返しの学習や家庭学習を充実させていく。ドリルパーク等を活用し復習問題を解く時間を設定。【各単元】 ・各単元修了後、スクールダッシュボード内で授業の振り返りを行い、児童の各単元での学習の様子を把握する。不安が見られる児童は休み時間等に個別対応を行い、学習の定着を図る。【各単元】 ・授業の中で、自分の意見や解き方を考える時間を取る。ペアでの対話や小グループでの対話を取り入れ、自分の考えを表現する場を作る。【毎時間】

⑤	年度末評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	<ul style="list-style-type: none"> 1 結果分析(管理職・学年主任等) 2 詳細分析(学年・教科担当) 3 分析共有(児童生徒の実態把握)
↓		
今年度の成果と 次年度の課題		結果提供(2月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果の分析	
特徴的な結果		<ul style="list-style-type: none"> 調査の振り返り(4月) 調査問題の解説 振り返りの終了報告
↓		
結果から考えられる 児童生徒の実態		<ul style="list-style-type: none"> 小学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト等の分析・活用 ③調査問題を活用した授業

④	さいたま市学習状況調査結果の分析	
特徴的な結果		<ul style="list-style-type: none"> さいたま市学習状況調査(5月) <小1～中3>(11～12月)
↓		
結果から考えられる 児童生徒の実態		<ul style="list-style-type: none"> ①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト等の分析・活用 ③中間評価を経ての取組 ④調査結果を活用した授業

③	中間評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	<ul style="list-style-type: none"> 調査結果分析(7月) 結果分析(管理職・学年主任等) 児童生徒の実態把握 夏期職員研修等
↓		
学力向上策の 見直し		<ul style="list-style-type: none"> 中間評価(9月) 課題・策の見直し

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)